

- 議 事 -

報告 呉市交通局のバス路線について

発言者	発言要旨
	資料1,2について,事務局より説明
会長	・確認等をお願いします。
副会長	・広島呉線は利用者が減っている。これはクレアラインの無料の社会実験の影響があるか。
事務局	・無料化の実験の開始前の6月22日に調査を実施した。そのため無料化の影響はない。
副会長	・広島空港線は昨年から増えている。東広島呉道路が開通したら定時性が確保できるのではないか。一旦廃止して,復活することもありえるのか。
事務局	・東広島呉道路が1工区は完成,平成23年度に3工区が完成する予定であるが,完成の目処がたたない2工区があり,当該区間の渋滞が著しい。東広島呉道路の全線開通となり定時性が確保されたら復活もありうると考えるが,現時点では時間が読めない状況が続いており,廃止を決定した。

議案第1号 呉市吉浦地区における乗合タクシー事業計画案について

発言者	発言要旨
	資料3について,事務局より説明
会長	・質疑をお願いします。
委員	・タクシー業界は規制強化が行われている。専用車両,予備車両はどうするのか。車両の導入が必要なのではないか。
運行事業者	・運輸局に確認したところ毎日運行では専用車両が必要。予備車両は導入する予定である。
事務局	・運輸局から専用車両は必要。予備車両は併用で良いと聞いている。住民主導の補助制度を検討中であり,現時点では,ランニングコストを助成し,初期費用を助成する予定はない。
副会長	・運用車両は何台なのか。
事務局	・平日1台。
副会長	・積み残しが発生する状況は,局所的にも発生しないか。利用の目標値は持っているのか。フリー乗降はどこか。上り・下りが混在する箇所など,利用者は混乱することはないか。
事務局	・積み残しの発生の可能性はある。地元との話し合いで車両を効率よく利用することにより積み残しを発生しないように工夫する予定である。場合によっては続行便の運行も検討することも考えたい。 ・提案の運賃収入については控えめな設定としている。市で助成ができる範囲を設定する予定であり,現在検討中である。 ・吉浦中町3丁目中~天応駅入口の区間をフリー乗降とする予定。吉浦中町3

	丁目中～上城町は、車の離合が難しいほど狭い区間であるため朝の通勤時間帯の運行は行わず、クリアラインの側道を通る運行とするなど、沿道環境等を踏まえフリー乗降区間においても乗車バス停を設定することで、利用者の混乱を防ごうと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実験期間を設けないのか。 ・アンケート調査は実施しないのか。 ・地元への広報活動はどうするのか。
事務局	・現在のバス利用者は長谷町から弥生町の住民であり、ほとんどの住民が運行協議会に参加している状況である。周知については、運行協議会を通じて住民主導で行われつつある。また、運行事業者の方で試走をしたり、バス停の位置を設定したりしている。
委員	・広電バスへの移譲への対応は考えているか。
事務局	・広電バスがあらたに当該区間を運行することはないと考えられ、運行協議会での意見を踏まえ運行を継続していきたい。
会長	・質疑等があればお願いします。無いようなので、本件については協議が整ったこととして異議はないか。
一同	・異議なし

生活バスの利用状況等について

発言者	発言要旨
	資料4について、事務局より説明
会長	・確認等をお願いします。
委員	・倉橋の温泉館でバス利用者と話をしたことがあるが、乗り継ぎがよくないという意見を聞いた。また、学校の統廃合に伴う再編は検討する予定か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ市営バスへ乗り継げるようなダイヤ設定を行っているが、生活バスの便が少ないこと、市営バスが渋滞で遅れることがあり、快適な乗り継ぎが確保できていない状況である。 ・通学については、スクールバスを別立てせずに、できるだけ生活バスと一体化する方針で検討する予定である。
会長	・小型化することによる積み残しはないか。
事務局	・基本的には積み残しはない。
会長	・温泉館での待ち時間はどのくらいか。
事務局	・基本は20分以内の設定としているが、場合によっては乗継ぎを設定していない便もある。
会長	・警固屋地区乗合タクシーの積み残しはないか。
事務局	・雨天時に1回だけあったが、基本的には積み残しはない。